

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/01/10

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.58	-0.05
JPY/THB	0.2187	0.0000
USD/JPY	158.14	-0.21
EUR/THB	35.62	-0.11
EUR/USD	1.0300	-0.0018
USD/CNH	7.356	0.002
SGD/THB	25.27	-0.05
AUD/THB	21.42	-0.10
USD/INR	85.86	0.01
USD Index	109.18	0.09

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.107	-0.008
10Y (THB)	2.344	-0.002
5Y (USD)	4.456	-0.005
10Y (USD)	4.689	0.000

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,690.8	18.4
WTI (Oil)	73.92	0.6
Copper	9,078.5	47.0

Stock

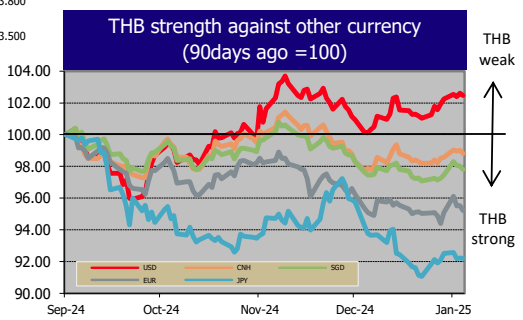
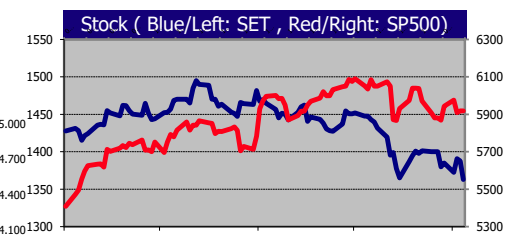
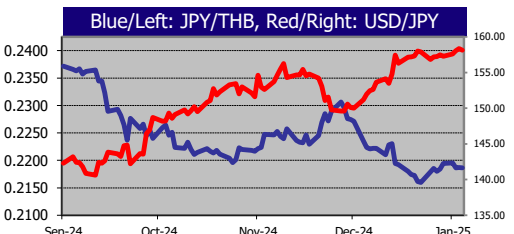
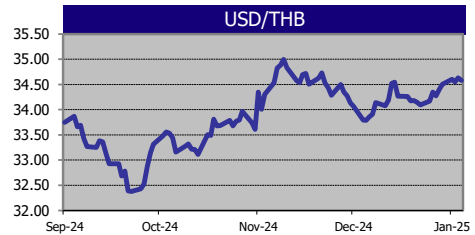
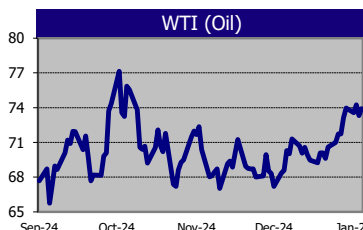
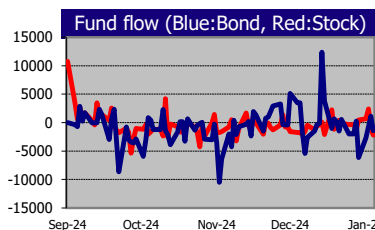
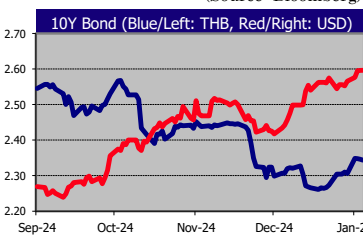
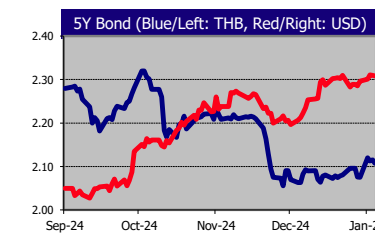
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,362.97	-24.75
NIKKEI (JP)	39,605.09	-375.97
DOW (US)	42,635.20	0.00
S&P500 (US)	5,918.25	0.00
SHCOMP (CN)	3,211.39	-18.78
DAX(GER)	20,317.10	-12.84

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,216)	-1100.9
Bond net flow	(1,446)	-2553.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅に下落。34パーツ台半ばの水準で取引を開始すると、特段新規の材料ない中、同水準で方向感に欠ける推移が継続。米金利の低下を背景にドルパーツも下押しされる場面が見られたが、その勢いは限定的に。海外時間も注目材料ない中で動意乏しく推移し、そのまま34.58レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅に下落。158円台前半の水準で取引を開始。本邦11月毎月勤労統計が市場予想対比良好な結果であったことから円買い優勢の地合いとなり、ドル円は一時157円台後半まで下落したものの、その後日銀より公表された「地域経済報告」は今月の日銀会合での利上げを後押しするほどの内容ではなく、158円台前半まで戻される展開。海外時間、米金利の低下を背景に再度158円を割り込み、157円台半ばまで下落する場面を見せるも、終盤にかけて米金利が再上昇するとドル円も158円台前半まで戻した。その後はカーター元米大統領の国葬を控える中、動意乏しく推移し、158.14レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

足元、英国債と英ポンドが同時に売られていることが市場で話題となっている。英国債の利回り上昇自体は昨年9月ぐらいから続いている現象ではあるが、ここに来て米国のトランプ次期大統領による追加関税政策を背景としたインフレへの懸念や、楽観的な成長予測に支えられた英政府の予算計画への疑念などが相俟って、その動きが顕著になっている。通常、足元で中国の人民元が国債利回り低下とともに売られているように、金利上昇といえばポンドは買われてもいいはずだが、国債もポンドも売られているということは、英資産の売却、すなわち資本逃避が起きている可能性に留意する必要がある。要は2022年に、トラス元首相の大型減税案を契機として英市場がメルトダウンした状況に似た動きとなっており、こうしたポンド売りが足元のドル高地合いをますます助長するシナリオは意識しておきたい。本日は米国時間に米12月雇用統計が発表される。米労働市場が堅調であることは直近12月のFOMC後の記者会見でパウエル議長からも言及があったことから、仮に強めの数字が出ても相場への反応は限定的とみるが、円、人民元、ポンドなど多くの通貨がすでに警戒域で推移していることを勘案、ここから更にドル買いが強まる局面では相場の急変にも備えておきたい。(吉田)